利用者100万人達成！
横手市立吉田小学校5年生の皆さん！

ほろわんぱーくの利用者が、令和５年６月７日（水）に、１００万人を達成しました。その記念すべき入所者は、横手市立吉田小学校５年生の皆さんで、野外炊飯の活動に行く前にくす玉を割って一緒に祝っていただきました。ほろわんぱーくは、子どもたちの豊かな自然体験や感動体験ができる場所として、昭和５３年７月１日に開設され、当時の大森町立前田小学校さんが、記念すべき入所第一号となりました。５０万人達成が、大森小学校さんの平成１０年１０月１６日、９０万人は男鹿北中学校さんの平成２８年５月９日でした。ここまでは４～５年で１０万人ずつ増えていたのですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者の人数が減少しましたが、ついに吉田小学校５年生２５名の皆さんが、１００万人を達成してくれました。９０万人からは７年もかかりましたが、創立４６年、学校さんをはじめとした利用者の皆さん、歴代の所員及び関係者の皆様の尽力の賜と考えております。ここから１１０万人を目指して、小さい子どもから大人までの全ての人たちに、豊かな体験を提供できる安全・安心な「社会教育施設」として、今後もさらに頑張っていきたいと思います。今後ともほろわんぱーくへの温かなご支援とご協力をお願いいたします。

宿泊体験・自然体験　満喫中　～きらきらのまなざしがいっぱい！～

ほろわんぱーくのフェイスブックでも毎週ご紹介しておりますが、６月から７月にかけての保呂羽山にはワクワク・ドキドキ・おいし～の“感動のカタチ”が、あちらこちらで見ることができます。「沼に落ちてしまったらどうしよう…」「暗闇から帰って来れなかったらどうしよう…」などから始まるドキドキのカヌーとナイトハイクは、「また乗りたい！」「友達っていいな！」というワクワクの活動に変わります。「包丁を使えるだろうか…火を起こすことができるか…」といった不安は「おいし～、こんなカレー食べたことない！」といった感動に変わります。“協力というカタチ”が一人一人を大きく成長させてくれることを見ることができて、スタッフもとてもうれしく思います。この後もまた、より多くの変化を楽しんでもらえるように、スタッフ一同頑張っていきたいと思います。“きらきらのまなざし”をお待ちしてます。

主催事業のご案内

「ほろわんぱーく主催事業」は、小・中学生やその家族の方を対象とした事業です。各事業の参加申込みの募集期間については、それぞれ**実施日の１ヶ月前頃にホームページやフェイスブックでお知らせ**しています。**締め切りよりも早く定員になった際は募集を終了し、ホームページとフェイスブックでお知らせ**いたします。参加はお早めにお申し込みください。

あきたけんりつほろわんぱーくしょうねんしぜんいえ
秋田県立保呂羽山少年自然の家　（愛称：ほろわんぱーく）
〒013-0661　秋田県横手市大森町八沢木字大木屋73　TEL 0182-26-6011　FAX 0182-26-6012
<ホームページアドレス> http://www.pref.akita.lg.jp/horowa-sizen/
【ホームページ】　【フェイスブック】